

令和4年度指定管理業務に関する事業報告書（地域包括支援センター）

センター名 柘野地域包括支援センター

1 施設の管理運営

- ① 総合相談支援
- ② 権利擁護事業
- ③ 包括的・継続的ケアマネジメント
- ④ 介護予防ケアマネジメント

(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容

2 事業実施内容

- ①地域ケア会議の開催：個別地域ケア会議にて個別課題の抽出、評価・分析を踏まえ、学区課題や圏域課題におとし各地域ケア会議を開催する。（個別：15件 各学区：3回/年、圏域：2回/年）
- ②戸別訪問事業と地域の見守り訪問との連携。独居高齢者の把握と地域の見守り体制構築への支援。
- ③災害時の備え（圏域地域ケア会議にて実施）：R4年度第2回圏域地域ケア会議にて「防災」をテーマに実施。圏域事業所や医療関係機関等に対し、防災に対する意識付けとタイムラインの理解について学びを得る場とした。次年度も継続課題とする。
- ④もっと活性化委員会：北山3学区（山間地）の特有課題に対して、行政・区社協・原谷包括と連携し取り組みを行って行く。今年度は災害以外の優先課題の洗い出し・必要な課題への取り組みを行う為の準備期間とした。
- ⑤各学区課題への取り組み：居場所作り（サロン）再開や新たな立ち上げ支援。地域とデイサービスが協力した上賀茂サロン・柘野サロン・雲ヶ畑サロンに対し圏域デイサービスや小規模多機能施設が、地域資源として協力が行えるよう働きかけを行った。又、介護予防推進センター取り組み（インターバル速歩）を地域自主グループへの取り組みへの移行支援を行った。
- ⑥医療と介護の連携強化：昨年に続けた課題への取り組み、圏域地域ケア会議を通し圏域の介護保険事業所や医療関係機関等に新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策について、居住系サービス事業所に向けた感染症初動対応と感染対策の取り組みを行った。

(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容

(参考) 自主事業内容

3 サービス提供状況

管理者（センター長 看護師等 介護予防ケアマネジメント業務兼務）1名
主任介護支援専門員 2名（包括的・継続的ケアマネジメント業務兼務）
看護師等1名（介護予防ケアマネジメント業務・センター長業務兼務）
社会福祉士1名（総合相談・支援業務及び権利擁護相談業務と兼務）
介護支援専門員2名、事務員1名（非常勤）

(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容

4 市内中小企業への発注に対する考え方

優先的に発注するよう努めた。

5 施設の利用状況（施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など）

- (1) 介護予防支援給付対象者数（実績値）

人

- (2) 相談延べ件数（実績値）

件

(3) 収支実績

ア 令和4年度収入状況（単位：円）

委託料	26,756,500
介護保険収入	14,938,168
その他	35,640
収入計	41,730,308

イ 令和4年度支出状況（単位：円）

人件費	34,270,400
事業費	2,503,113
委託費	1,863,762
小額修繕費	13,750
その他	72,513
支出計	38,723,538

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

把握していない。

(2) 利用者満足度把握の結果

把握していない。

(3) 意見等への主な対応状況

対応していない。

7 評価（指定管理者自己評価）

①地域ケア会議：（個別レベル）各学区地域ケア会議にて、行方不明リスクの高い高齢者、地域からの苦情及び、地域への見守り依頼等のケースについて実施する。

（学区レベル）各学区3回/年実施済。参加機関の情報共有及び、各学区の課題に応じテーマ・参加者を選定し課題解決に向け開催。

（圏域レベル）R2年度から3年間は新型コロナウイルス感染症への取り組みを圏域内の重要課題として取り組みを行った。今年度は居住系サービス事業所向けに感染予防初動対応の大切さ、クラスター感染拡大予防、BCP作成をテーマに行うことができた。3年間取り組みを継続実施し、一定の成果を得る事ができた。下半期は防災をテーマに圏域事業所や医療関係者に向け行い次年度も継続課題として取り組んでいく必要がある。②学区の取り組み：（柘野学区）2年間中止していた地域サロンの再開支援、新たなサロン企画・立ち上げ支援を実施。サロン及び、公園（インターバル速歩）等に介護予防推進センターや圏域デイサービスの参加等、地域と事業所の連携強化を図った。他、学区における「気になる高齢者」の地域役員やケアマネジャー等との共有・見守り支援の強化をケア会議等を通じて実施した。（上賀茂）地域における独居高齢者見守り活動の実施（75歳以上、8年継続）。又、上賀茂サロンの定着に向け地域役員と学区にあるデイサービス・小規模多機能施設と地域ケア会議にて協議しサロンの開催が行えた。見守り訪問やサロン開催を通じ、地域の各関係機関の連携を強化。他、介護予防推進センター主催である岡本公園のインターバル速歩を地域主催の取り組みへ移行できた。（雲ヶ畑）「さじきの里」サロン運営支援。防災への取り組み：災害時対応フローチャートの見直し、災害時個別計画書作成等継続中。北山3学区もっと活性化委員会はR2年度より中止となっていたが再開し、災害以外に視点を置き課題の共有を行う。又、山間地特有課題へのアプローチ手法等の勉強会を実施した。（元町）独居高齢者・支援困難ケース等の情報共有を実施し、見守り体制の強化を図る。他、民生委員・老人福祉員向けの勉強会・座談会を開催。

③圏域ネットワーク連絡会：【ケアマネジャー部会】1回/月事務局会議開催（圏域居宅・小規模多機能施設の管理者及び主任CMIにて事務局）連絡会の運営を行う。事例検討会：2回/年実施（CM経験5年未満対象1回、全CM対象2回（内、北上認知症等カンファレンス事例提供含む）【デイサービス部会】R4年3月立ち上げ。1回/2か月開催。圏域デイサービス10事業所内、8事業所の管理者及び相談員が参加。次年度は勉強会開催や全事業所の参加を目指す。

④障害を理由とする差別の解消に向けた職員研修により理解を深めた。